

不審電話に関する事例

案件①

平成25年5月13日（月）午後1時頃、長崎市において、後期高齢者医療被保険者Aさん（80歳代男性）宅へ市役所職員（名前を名乗らず）を名乗る若い男性から電話があり、すぐに社会保険庁のモクヅキと名乗る男性に代わり「高額療養費の払い戻しが49,320円あるので、市施設（公会堂）のATMで本日中に手続きしてほしい。連絡先は0120-944-391」という電話内容。

Aさんの妻が指定された公会堂まで出向き、手続き方法について公会堂職員を通じて市役所へ連絡があり、Aさんの妻から市役所職員が事情を聞いて、事案が発覚した。

また、市役所へ連絡している間に公会堂職員が相手の携帯電話へ架電し、その後、Aさんの妻に電話を代わったところ、相手方が一方的に電話を切ったとのこと。

案件②

平成25年5月14日（火）午後2時40分頃、長崎市の後期高齢者医療被保険者Bさん（70歳代男性）宅へ、市役所保険課を名乗る男性から「医療費の還付金が49,600円ある。すぐに社会

保険事務所のフリーダイヤルに電話してほしい」との連絡があった。指定された番号に連絡すると、ヤマグチと名乗る男性から近くのスーパーのATMに行き、そこから電話するよう指示があった。ATMから電話し、指示通りに操作をしたところ約98万円が指定された口座に送金された。明細書で気づき、すぐに長崎警察署に連絡したものの回収はできないとの回答であった。

翌朝の長崎新聞の不審電話の記事を見て、市役所へ連絡したことで事案が発覚した。

事案③

平成25年5月16日（木）、長崎市の後期高齢者医療被保険者Cさん（70歳代女性）宅へ、市役所職員を名乗る若い男性（名前名乗らず）から、「平成18年から5年間分の医療費の過払い金が40,955円ある。文書を出したが、4月末の締め切りまでに提出されていないので、社会保険事務所0120-995-951へ連絡し、整理番号998779と言えば書類が発行される」旨の説明を受けた。

16日の朝刊に詐欺の記事が載っていたので、教えられたフリーダイヤルに電話し、電話に出た若い男性に詐欺ではないかと詰問したところ、一方的に電話を切られたとのこと。

事案④

平成25年5月20日（月）正午過ぎ、長崎市の後期高齢者医療被保険者Dさん（80歳代男性）宅へ、市役所を名乗る男性から「2008年からの医療費の還付金が49,000円程あるが、手続きがされていない。案内文書を送っていたが、4月末で期限が切れたため、今後は社会保険事務所で手続きが必要になる」という内容の電話があった。Dさんが「こちらから南社会保険事務所に電話する」と伝えたところ一方的に電話を切られたとのこと。

不審電話があったことの連絡が、Dさんから市役所にあり事案が発覚した。

不審な電話等があった場合、広域連合、市町村後期高齢者医療担当または最寄りの警察へ御相談ください。

問い合わせ先：宮崎県後期高齢者医療広域連合

0985-62-0921（業務課）